

■ご挨拶	1
■国会報告・委員会報告	2
■参地ネット04in大分開催	3
■国政報告会(竹田市)	3
■スタッフ紹介	3
■活動報告	4
■ご挨拶(1面から続き)	4
■お知らせ	4
■編集後記	4

『足立信也と安心な日本を創る会』 <http://www.adachishinya.com> E-mail: info@adachishinya.com

ご挨拶



花粉症の季節が去り、鮮やかな若葉を求めてさあ屋外へ、でも太陽の下には豊富な紫外線が待ち構えています。熱中症

にも注意しながら、清涼しい気候を満喫し御健勝のことと拝察いたします。平素より格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。とりわけ、この3月1日の『足立信也後援会』準備会を兼ねた『参地ネット04in大分』の開催におきましては、皆様方に物心両面にわたり、大きなご支援をいただきました。改めまして御礼申し上げます。私を含め11人の参議院議員が大分に集まったことはかつてなく、真のタウンミーティングを皆様方も堪能されたのではないかと思います。

4月27日投票の衆議院山口県第二区補欠選挙において、民主党の平岡候補が大勝しました。しかし4月30日に、道路特定財源の暫定税率を今後10年間維持する「租税特別措置法」が衆議院で再議決され、そして、5月13日にも道路特定財源は道路の整備にしか使われないという「道路整備費財源特例法」の再議決が行われました。

補欠選挙の争点は①道路特定財源と暫定税率、②後期高齢者医療制度、③年金記録問題と消えた年金 この3点に絞られ、有権者は明確に道路特定財源と後期高齢者医療制度にNOと言ったのです。この選挙結果と再議決のあまりにも大きな相違はいった

いなんでしょうか？

①道路特定財源の議論は端的にいつてこの国の形を決める論争だと思えます。そもそも、恒久減税と言っておきながら、所得税の定率減税は昨年8年間で廃止されました。しかし、道路特定財源は暫定で34年、そしてさらに10年延長するというのです。この国は自動車を持つことにお金がかかりすぎる、車を買うとき、保管するだけでも課税されます。自動車関係諸税は極めて複雑、過重な負担となっており、高速料金も加味したガソリン税と合わせると世界一高い課税となっています。受益者負担といいますが自動車は地方にとって必需品です。大分県は東京都に比べて一人当たり28倍の道路関係諸税を納めているのです。とりあえず税金だけ集めて使い道はこれから考えるという、中央集権的な時代錯誤のやり方を今後も続けさせて良いものでしょうか。我々は道路特定財源を一般財源として暫定税率をなくし、地方には2兆円の交付金を交付すると提案しているのです。地方にとっては減税され、国からは使途の限定されない一括交付金を得る。まさに地方主権の時代に必要な地方重視の政策です。国の予算は3兆円弱減ることになりますが、国の歳出は一般会計・特別会計合わせて214兆円です。わずか1.4%の工夫ができないとしたら、それは縦割り行政の弊害そのものです。そもそも道路以外の無駄使いがゴロゴロ出てきました。公用車のお抱え運転手代年間167億円、国交省職員の宿舍建設に毎年24億円、タクシーチケット23億円、ミュージカルに5億円、たった3部の報告

書に1億円……。必要な道路はどうやって決めるのか。構想段階から住民を巻き込んだ議論をする方法はP-I (Public Involvement) といって、欧米では行われていますが、日本では行政側の説明会に過ぎません。

②後期高齢者医療制度は障害者自立支援法の二の舞です。2年前の健康保険法等の改正案の政省令事項は440項目にのぼります。障害者自立支援法は201項目でした。私たちは明文化された具体策の提示のないまま法律の審議をします。しかし構想は出来上がっています。ですからいろいろ懸念が生じ、施行された場合を想定して質問をします。今日の国民の大半が反対する事態は予測できていました。障害者自立支援法施行後、全国で反対の声が上がりました。賛成した与党議員の中には「こんなひどい法律だったのか、官僚は何をしているんだ」という議員もいました。この人を「立法院の国会議員」と呼べるでしょうか。同じことが後期高齢者医療制度でも起きています。リスクの分散を目的とした社会保険制度にリスクの高い、収入の比較的低い層だけの制度をつくるのは不可能です。かつて後期高齢者医療制度を廃止するだけでは、医療保険間の格差は拡大する一方で、医療保険は一元化し、国民負担と医療費、税と社会保険の関係、保険者間の調整、年代ごとの負担はどうあるべきかといった本質的議論を今こそ行うべきです。ちなみに、4月22日の委員会質疑で2年前の医療制度改革における高齢者の医療費抑制1兆円分(2025年まで)は高齢者に対する受診抑制であるという答弁がなされました。

国会報告・委員会報告

厚生労働委員会報告

衆議院厚生労働委員会

「年金流用禁止法案の答弁」(11月21日、28日)



参議院で可決された民主党提出の同法案が衆議院へ送付されたことに伴い、法案の発議者である足立は答弁者として出席した。審議中に怒声が飛び交うなど衆議院独特の雰囲気漂う中、慣れない状況の中でもしっかりと説得力のある答弁を行った。

一般質疑(12月4日)

厚生年金病院に対しアスベスト被害の労災認定がされた事業所名の公表を早急に行うよう求めた。また、ファイブリノゲン投与により肝炎になった可能性のある方々の実態調査の必要性や、高度先進医療技術の効果的な保険導入の仕方、納得を得られる死因究明制度のあり方などを訴えた。

一般質疑(12月25日)

厚生年金病院の整理合理化計画に関する問題を追求するとともに、政府の医療費抑制政策により生じた医師不足問題について、将来推計に基づく不足人数など具体的な数字を示し、政府の危機感を促した。

大臣所信への質疑(2008年4月1日)

宙に浮いた5000万円の年金記録問題に関連し、自らの年金記録が、社保庁との確認作業を行っていたにもかかわらず統合されていなかった件について質した。また、後期高齢者医療制度及び特定検診に関して問題点を指摘した。

一般質疑(4月22日)

後期高齢者医療制度について、2年前の法案審議時の附帯決議(21項目)が守られていない点や、65歳以上の障害を持った方が同制度に事実上強制加入させられている点を指摘し、現在起きている多くの混乱が、2年前の時点で民主党が予測して指摘していたにもかかわらず、政府・与党が無視していたことに対し強く批判した。

感染症予防法及び検疫法改正案(4月24日)

新型インフルエンザ対策に関して、政府の推定した死亡割合が低すぎる点や、病床の準備が進んでいない点を指摘した。また入国時の感染のおそれのある人に対する検査は義務化されているが、検査結果が出るまで待機する義務が課されていない点について追及し、大臣から「検討に値する」提案。やる方向で検討させて欲しい」との答弁を得た。

法案提出

①原子爆弾被爆者援護法改正案提出・記者会見(12月4日)



②アスベスト被害救済法案改正案提出(4月24日)

講演等

①日本医療政策機構主催「都道府県がん政策ワークショップ」(12月8日)

②東京都連区市町村議員団・東京フォーラム政策研修会(12月21日)

③医療ADR連絡協議会・研究会設立記念シンポジウム(2月3日)

④厚生年金病院の公的存続を要請する院内集会(4月14日)

医療現場の危機打開と

再建を目指す国会議員連盟活動

①設立総会(2月12日)

120名を超える超党派議員による同議員連盟が設立され、総会と記念講演が行われた。今後、足立は事務局次長として議連の活動の中心を担っていくこととなった。

②発足記念シンポジウム(4月12日)

日比谷公会堂に医療関係者、マスコミ、患者・家族、学生、国会議員など約1000人が集い、盛大に行われた。足立は主催者として参加するとともに質疑・議論を行った。



出演

①スズカンTV生出演(12月5日)

医療問題等で親交が厚い鈴木寛議員が作るインターネットで配信される番組にゲストとして出演した。



①スカイパーフェクトTV!収録(3月6日)

医療福祉チャンネル774の「黒石祐治のメデイカルレポート」へ出演した。

足立信也支援者集会

in 大分
開催

参地ネット04



北野正剛先生



釘宮磐大分市長



嶋崎龍生会長



「参地ネット04」に参加した議員の皆さん



3月1日(土)全労済ソレイユ(大分県労働福祉会館)において、約250名の参加を頂き支援者集会と、2004年参議院議員地方選挙区から初当選した民主党議員で立ち上げた「参地ネット04」が開催された。

始めに後援会役員紹介と組織説明、具体例として大南地区後援会の事務局長より説明があった。次に、大分大学医学部教授で日本消化器外科学会理事長の北野正剛先生より激励のあいさつ、来賓代表として連合大分の嶋崎龍生会長にあいさつを頂いた。続いて、足立信也より感謝の気持ちと、医療や社会保障の問題等について、これから取り組む政治活動について決意を込めたあいさつが行われた。

この後、参地ネット04の議員紹介と入場が行われ、先輩でもある釘宮磐大分市長より歓迎のあいさつを頂いた。各議員自己紹介の後、足立が行役となってタウンミーティングが行われた。年金・医療制度・少子化対策・道路特定財源・防衛省の不祥事問題等、参加者より活発な意見や質問が出され、それぞれ得意分野の議員が次々とマイクを握り、丁寧にも熱く答えた。

会場を移して懇親会が行われ、ここでも意見交換や写真撮影など懇親の輪が広がった。休む間もなく、参加議員が全員街頭へと出向き、県民の方々に分かりやすく政策を訴えた。

国政報告会(竹田市)

竹田地区労働センター(代表 工藤隆浩氏)主催の国政報告会が4月19日(土)に、JA大分みどり(竹田市)で開催された。100名の方の出席をいただき、主催者あいさつ、来賓の加藤正義市議会議員のあいさつに続いて足立信也より国政報告が行われた。



足立信也 国政報告会

第一部として、年金・後期高齢者医療制度・道路特定財源の3点について、問題点を分かりやすく説明した。第2部では、主催者が事前に市民からの投稿を募った質問事項や会場からの質問・意見について、トーク形式で丁寧に回答した。内容は、「後期高齢者医療について」「障害者自立支援法の廃止について」「道路特定財源について」「年金について」「NHKの受信料について」等で内容の濃い国政報告会となった。

スタッフ紹介



こんにちは、4月から大分事務所まで皆様のお世話になっております佐藤昭生と申します。豊後大野市三重町在住です。サッカーをこよなく愛し、地元で少年サッカーの指導と、(社)大分県サッカー協会の理事をやっております。今は、仕事を覚えるのに必死でサッカーにかかわる余裕がありません。また、支援者の方々への挨拶も順次やっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

し、地元で少年サッカーの指導と、(社)大分県サッカー協会の理事をやっております。今は、仕事を覚えるのに必死でサッカーにかかわる余裕がありません。また、支援者の方々への挨拶も順次やっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

活 動 報 告



1月4日 大分駅前街頭演説



1月27日 大分建労定期大会



1月27日 豊の国たこあげ大会



2月9日 民主党県連大会



2月16日 茗溪会・茗休会合同総会



3月22日 千歳大野道路開通式



4月26日 中央メーデー



5月5日 日本童話祭

(下より)

③年金記録問題では皆さんにお願いがあります。それはもう一度御自分の年金記録を確認して頂きたいということです。3月までに『ねんきん特別便』が届いた1030万人の方は由に浮いた年金記録がある可能性の非常に高い方々です。しかしながら、3月18日現在、約205万人(28%)の人から回答があるのみで、そのうちの122万人(60%)が訂正無しと回答しているのです。その理由の半分を「年金記録に間違いがないか」と思っていたが占めています。すでに年金を受給されている方は『裁定』を受けたのだから間違いはないかと思込んではいませんか。例えば夫の年金記録が由に浮いていれば、妻である自分の年金加入期間が短くなり、給付額が少なくなっている可能性があるのです。また、特別便の資格喪失年月日と次の欄の資格取得年月日は重なっていないと隙間があることになり、1か月未納、あるいは未加

入になります。現役加入者の方も油断しないでください。実は私も厚生年金記録が12年以上宙に浮いていました。ご存知のように私が当選した2004年は年金未納問題で大騒ぎでした。私も何度か社会保険庁に確認し、昭和57年から年金加入が継続していることを確認しております。社会保険庁には記録があるのに統合されていないのです。4年前から今日まで自分の加入記録を確認された方も統合されているとは限りません。現時点で、5095万件の宙に浮いた年金記録のうち解決したのは1065万件、4030万件が未解決です。さらに今は、年金記録そのものに改ざんがあったりしていることが問題となっております。4・5月は受給者、6・10月には全ての加入者に特別便が届きます。必ず確認して正確な記録を取り戻してほしいのです。

梅雨は最も病気の多い季節です、ご自愛ください。

参議院議員
医学博士

足 立 信 也

・ 編 集 後 記 ・

若葉が芽吹くこの春に、二人の秘書さんが足立事務所を退職しました。共に新聞編集に携わってきた仲間であるだけに寂寥の思いがしますが、二人の前途にエールを送り、これまでの感謝といたします。秘書は代りますが、引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。 T・F

PS. 新聞も今回から少し模様替えしました。お気づきになりましたか? 今後共、ご愛読をお願いします。



足立信也活動記録2008

DVDができました
詳しくは事務所までお問い合わせください。

・ お 知 ら せ ・

個人会員募集と更新のお願い

個人会員を募集しています。(年会費 ¥5,000)
事務所の運営費・Shin-ya新聞の発行費・集金費等に充てます。皆様の入会をお待ちしています。また更新時期をむかえられた方には手続きをお願いしておりますので更新をよろしくお願い致します。

ミニ集会(見て聞いて知っちゃくれ)開催のお願い

足立信也を知っていただくためのミニ集会を計画しています。少人数でもかまいません、ご協力いただける方は、大分事務所までご連絡ください。